PAT-NO:

JP359058522*A* 

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 59058522 A

TITLE:

INTERFACE CONTROL SYSTEM

PUBN-DATE:

April 4, 1984

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUKUNAGA, TADASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUJITSU LTD N/A

APPL-NO: JP57169975

APPL-DATE: September 28, 1982

INT-CL (IPC): G06F003/00 , G06F009/00

## ABSTRACT:

PURPOSE: To check matching with hardware by storing pieces of version numbers of respective devices which constitute an electronic computer system, and collating them with the version number information of a program when the system is powered on or set.

CONSTITUTION: A central processing unit CPU, main storage part MEM, channel device CH, input/output devices IO such as a magnetic disk device and a line printer, console COS, etc., have a device version number storage part M, and programs residing in the electronic computer system are stored in the input/output devices for a magnetic disk and a magnetic tape and corresponding pieces of version number information is given to each

program. When the system is powered on or reset, a program for version number information collation is loaded into the main storage part MEM and version number information and a device code are read out of the storage part M of each device and collated with the version number information on a readout program; when they are not coincident with each other, the device code and a program code are displayed on the console COS.

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japio

## (9) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

## ⑩公開特許公報 (A)

昭59-58522

⑤ Int. Cl.³G 06 F 3/00

· 42 , ,

識別記号 101 101 庁内整理番号 Z 7165-5B 7218-5B 発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

のインターフェース管理方式

9/00

②特

願 昭57-169975

20出

面 昭57(1982)9月28日

@発 明 者 福永正

川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内

切出 願 人 富士通株式会社

川崎市中原区上小田中1015番地

個代 理 人 弁理士 井桁貞一

明細型

1 発明の名称

インタフエース管理方式

2. 特許請求の範囲

接段の版数物報を記憶するとともに、版数が変更されたときにその記憶内容が変更可能な接置版数記憶部をシステムを構成する各装置に対応して設けるとともに、システムに対する電源投入時をあいはシステムリセット時に前記版数例報とシステムに存在するプログラムの版数情報との照合を行うととによりソフトウェアとハードウェアとのインタフェースを管理することを特徴とするインタフェースを管理することを特徴とするインタフェース管理方式。

3. 発明の詳細な説明

本発明は電子計算機システムにおけるハードウェアとソフトウェアとの整合性を管理する方式に 関する。

電子計算機システムはハードウエアすなわち中央処理装置,主記憶装置,チャネル装置,入出力 装置などの各装置と、各装置に対して指令を与え 所定の動作を行わせるためのソフトウェアを有する。すなわち、ハードウェアはプログラムによつて制御されアデータ処理を行うものであるから、 その前提条件として各装置における機能とプログラムの命令は一致していなければならない。

ところが、各数型の機能向上、設計変更のため
ハードウェアの変更が頻繁に行われるが、このハードウェアの変更によつて過去使用されたプログ
ラムと各装置のインタフェースが一致した (そなる) ないのない (本なつ) ない (本ない) ない (本ない) ない (本ない) ない (本ない) ででででいる ため、 装置の 変更に (でなり プログラムの変更がしばしば 忘れる ことに がある。したがつてデータ処理の途中において (事ない) ない (本ない) ない (ない) はい (ない) はい) はい (ない) はい (ない) はい (ない) はい) はい (ない) はい (ない) はい (ない) はい) はい (ない) はい) はい (ない) はい (ない) はい) はい (ない) はい) はい (ない) はい (ない) はい) はい (

本発明はかかる点に疳目し、プログラムとハードウェアの整合性を予めチェックすることによつて、電子計算機システムの異常を減少したものである。そのためにシステムを構成する各装置に対

応してその装型の装置版数情報を記憶する装置版数記憶部を設け、システムへの電源投入あるいは システムリセット時にこの装置版数情報とシステムに存在するプログラムの版数情報との照合を行 うととによりソフトウエアとハードウエアとのインタフェースを管理するものである。

and the contract of

以下図面に沿つて本発明を詳細に説明する。

第1図は電子計算機システムの概要を示すプロック図であり、CPUは中央処理装置、MEMは主記憶部、CHはチャネル装置、IŌ-0~IŌ-4は磁気ディスク装置、ラインプリンタ装置、磁気テープ装置などの入出力装置、COSはディスプレイ型のコンソールである。

電子計算機システムを構成する各装置でPU,MEM,CH,IO-0~IO-4は装置版数記憶部Mを有している。との記憶部Mはその装置の版数情報を記憶するためのものであり、例えばデイシタルスイツチより構成される。との記憶部Mにおける記憶内容は変更可能であり、前記デイシタルスイツチによつてその内容を外部より変更する。

ム版数情報とを区分し、照合部 C O Mにおいて照合対象となる両版数情報 HD. SD の照合が行われる。 との場合、両版数情報は 1 対 1 対応だけではなく、 1 つの被殴版数情報に対して複数のプログラム版数情報が照合されることもあり、反対に 1 つのプログラム版数情報に対して複数の接受版数情報が照合されることもある。

照合の結果、両版数情報の照合がとれない場合 には不一数信号NGを送出し、これによつてコン ソールCOSにメッセージが表示される。これは 照合対象とされたプログラムコードと装置コード あるいはこれらコードに各版数情報を付加して表 示される。これによつて、装置の変更に伴なつて プログラムの修正が正しく行われなかつたことが オペレータに通知される。

尚、装配版数記憶部は各装置自身に設けるととなく、一括して設けてもよい。同様にしてプログラムの版数情報も版数テーブルを新設することなくプログラム自身に持たせてもよい。

以上説明したように本発明によれば、電源投入

との変更はその装置に対して機能向上, 設計変更 等に伴なつてハード的な変更が生じたときに行われる。

紅斑機システム化存在するプログラムは磁気ディスク、磁気テープ装配などの入出力装置 IŌ-0
 ~ IŌ-4 化格納されている。とのプログラム化も各プログラム毎化版数情報が付与されている。

電子計算機システムは電源投入時あるいはシステムリセット時には以下のような操作が行われる。それは第2図に示すように装置版数情報日Dとプログラム版数情報SDとの照合である。すなわち、電源投入あるいはシステムリセットによつて主記館が日本がローディングされる。この照合プログラムは各数ではかられた版数配館のMからその配像内容すなわち版数情報と接びコードを読み出す。一方、プログラムの版数情報はプログラムコードととの版数テーブルよりである。そして装置コードとプログラムコードとにより照合対象とすべき装置版数情報とプログラ

あるいはシステムリセットによつて各接層の版数 情報とプログラムの版数情報とを照合するもので あるから予め両版数のインタフェースをチェック することにより、装履の変更に伴なりプログラム の修正忘れに基因する障害を未然に防止すること ができる。

## 4. 図面の簡単な説明

第1図は恒子計算機システムの概要を示すプロック図、第2図は版数的報の照合部を示す。

図中、Mは装置版数記憶部、HDは装置版数符報、SDはプログラム版数情報、COMは照合部を示す。

代理人 弁理士 井 桁 貞 -





